



芝山小だより



5月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

芝山小学校の開校記念日

校長 寺井 俊敬

季節はまもなく初夏を迎え、学校のまわりの木々も、緑が濃くなっていくのを感じます。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置こそ発出されていませんが、新型コロナウイルス感染症の感染者数は、依然高い水準で推移しています。このような状況ではありますが、6年生は、5月に予定されている日光修学旅行に向けて、準備を進めています。他の学年を含め、学校では、感染に気を付けながら、教育活動に取り組んで参ります。

さて、5月6日は、開校記念日です。

児童玄関には、開校当時、時を知らせ、集合を知らせるために使われていた『芝山小学校の鐘』があります。その説明書きには「昔、この地域は、一帯が雑木林で土地の人は山と呼んでいました。小さな雑木を粗朶(そだ)といい、それを折って薪にしていました。粗朶は柴ともいい、柴がたくさんある雑木林を柴山と呼んでいました。昭和28年4月、雑木林が一面に残っていたこの地に、しばやまという呼び名をとって、清瀬で2校目の芝山小学校が誕生しました。…」とあります。

現在、清瀬市立芝山小学校の児童数は、令和4年4月1日現在12クラス338名です。開校当初は、北多摩郡清瀬村立芝山小学校といい、1番児童数が多い時は、29学級(小児療養所学級含)1100人を超える児童がいました。反対に1番児童数が少ない時は、6学級179人の時もありました。

今の校歌は、昭和38年10月に作詞 勝 承夫様、作曲 平井 康三郎様によって完成しました。

昭和28年を0歳とすると、今年度、芝山小学校は、69歳の誕生日です。そして、来年度は70歳を迎えます。学校では、今年度から70歳の誕生日に向けて、周年式典や記念集会の計画を少しずつ考えていきます。そこで、4月の代表委員会に、私が出席させていただいて、代表委員の皆さんに「今から計画的に、70歳のお誕生日を祝えるように準備をしたいと思います。6年生は、3月で卒業してしまいましたが、お祝いする気持ちは一緒です。ぜひ、一緒に考えてください。」と、お願いをしました。

校舎2階には、開校当初の頃からの写真が飾られています。どれも、貴重な写真ばかりです。

1年生から6年生の児童のみんなには、開校記念日には、ぜひ、2階にある昔の写真を眺めて、芝山小学校で過ごした先輩たちがどんな学校生活を送っていたのだろうと想像を膨らませてほしいと思います。

冒頭お伝えした通り、新型コロナウイルス感染症に気を付けながらの教育活動になります。学校では、教職員による消毒、児童へマスク着用、手洗いの指導等、できることを徹底して参ります。ご家庭におかれましても、家庭での健康観察、発熱等具合が悪い時は無理をしない、場合によっては早退時のお迎え等、ご協力いただきたいと思います。今後ともよろしく願い申し上げます。

